


柘植地域

# まちづくりだより

## 第232号

**発行** 柘植地域まちづくり協議会事務局  
三重県伊賀市柘植町一〇六四七番地  
(柘植地区市民センター内)  
〒五一九一四〇二  
電話 四五八八八〇 FAX 四五八八八三

**発行日**  
二〇一九(平成三十一)年四月一日(月)



柘植地域俳句コーナー  
鈴の緒と  
新しくして  
春祭  
辻本幸子

### 新旧区長さんの

### バトンタッチ!

### 引き継ぎと交流を兼ねて...

3月16日(土)午後、市民センターで、今期区長と次期区長予定者にご参集いただきました。

冒頭、現在の柘植地域の人口状況や「伊賀流自治」の枠組みの中で区やまち協がどのように位置づいているかを事務局より説明しました。その上で、「伊賀市自治基本条例」、「自治組織に関する規則」や「まちづくりに関する基本協定書」について研修を行い、後半は「まちづくり協議会規約」をはじめ、区とまち協の関係やお金の流れとともに、今後の活動を進めるための役割分担や部会員選出方法などについて確認をしました。

今後、区やまち協活動の主体として責務の大きい区長職ですが、今回の会議を通じて、スムーズな新年度スタートを切っていただけることと思います。

トを切っていただけることと思います。

## 各区&柘植地域の未来のために...



(自治基本条例第21条)

住民自治活動の主体は、自治会をはじめ...

## 5月12日(日)開催

## 第32回余野公園つつじ祭に向けて



余野公園保勝会、余野公園管理協力会、柘植財産区、鉄道OB会、商工会、いがまち観光協会ならびに支所、まちづくり協議会等が、運営委員会を構成し、当日の出店や出演、バス運行などについて協議をしています。



**卒業、おめでとう**  
 3月19日(火)午前、柘植小学校の卒業式が行われ、13名が小学校を後にしました。



**♡とても心温まる卒業式でした♡**



**卒園 おめでとう!**  
 3月25日(月)午前、柘植保育園で卒園式が開かれました。

**柘植地域人権意識調査結果ダイジェスト版**

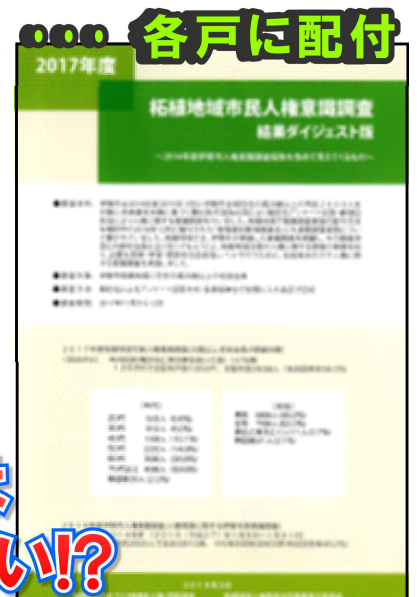
人権同和部会より『柘植地域市民人権意識調査』が各区を通じて全戸配付されました。

4月以降の各区の取り組みに活用することを目的としています。

各戸要保管で、地区懇談会等での話し合い(語り合い)など必要なきに活用をお願いいたします。



**知識は高いが、差別をなくす展望や行動の部分は知識ほど高くない!?**





区長のみなさん、  
2年間、  
おつかれさまでした

パート2

小杉区長 西田拓治

区長に就任以来はや2年、震災、台風、豪雨と災害の多い年でした。小杉は指定避難所が小さくマニュアル通りにはいかないところが沢山あり、防災実行委員会、避難訓練の時災害が起きた時どのように対処すればいいか結論には至りませんが、後は車中泊、各農舎をお借りし分散で、後は区民の皆さんの団結力とパワーで頑張っていく必要があります。

小杉地内大岩谷より西には歩道が無く通路には大変危険な為、要望書を出し2年がかりで安全対策をしています。ラインの引き直し、歩道部グリーンベルトの設置、安全立札の設置、年度内の完成の予定です。最終目標は小杉地内全線の歩道完成を目指しています。

小杉も若者の地元離れも増え、小杉を支える壮年層が減って農業離れが増え、これでは近い将来空き家が増え、大変な事になります。若者の魅力とする大きな会社の誘致が必要になってくるように思われます。2年間ありがとうございました。

後列左から、森下仁(下町)、伊室正一(小林)、高橋春光(前川)、中島義文(山出)、服部和義(野村)、中川輝一(中柘植) 前列左から、丸柱祐道(上町)、森惠美(柘植青葉台)、山岡幸五(上村)、西田拓治(小杉)、西口政敏(倉部)、久泉剛(岡鼻)

敬称略

野村区長 服部和義

当区も他地域と同様に人口減少、高齢化が進行しております。これを踏まえ歴代の区幹部により行事等の変更、廃止など見直しが行われてまいりました。これからも随時、見直しが必要とは思いますが、各種行事に際しいろいろな年代の方が一堂に会し交流を深めていただくことが区民の親睦、協調にとって非常に大事なことと思います。これらを踏まえ見直しが単なる縮小均衡とならない様に、また一人でも多くの方が参加できる様に代替案の検討などを模索していきたいと思えます。従いまして、まちづくり協議会にて参考事例の情報提供をはじめ情報交換の場をつくっていただけると幸いです。



倉部区長 西口政敏

区長という席に就いての2年間を顧みると、人生の中での貴重な経験をさせていただいた2年間だったと思う。区内は勿論のこと、まち協に於いても、問題は突発的に発生し更なる課題を残し、今なお未解決状態の案件もある。後進の方には申し訳ないが、少しずつ打開策を見いだしていくしかないと思う。

常に区民のことを考え優先して物事を推し量る立場にある区長という重責は、軽率な言動を封じて物事の収束にあたらなければ

ばならないため、自分なりに苦労も多かった。最後に、共に考え共に歩んだ区役員メンバー、そして区長会の方々に感謝の意を表したい。

小林区長 伊室正一

区長の重責を預かり2年経過致しました。当初は、行政、農業関係等に無知な私に務まるのか不安でしたが、区民の皆様をはじめ区長会の方々のご援助、ご協力のお蔭で何とか任期を全うする事が出来ました。有難うございました。

さて、各区共に同様の問題を抱えているのが、少子高齢化に関する事だと思えます。小林区に於いても現在の高齢化率は、58%（入区者65歳以上）です。それに伴い、空き家・農業の後継者・介護問題等多様であり、今後どのようにしていくか問題が山積している現状です。

しかし今に始まった事ではありません。区独自では各団体の行動如何によっては期待の持てる話が出来ると思えます。地域での問題解決の為、地域の協力、連携などを考え、区民全員が様々な行事に参加することにより区内の親睦が図られています。

幸い当区では各種団体の活動により、高齢者を支える体制が出来ていると思えます。今後はその体制を支え発展させることが賢明であると思えます。



中柘植区長 中川輝一

区長に就任して早2年がたとうとしております。就任以来それぞれの行事に追い回され、前例踏襲にならざるを得ない部分が多々ありました。

本来、改革すべきことをどんどん進めていくことにより、地区の皆さんが区行政に係わりやすくしていくべきところ、旧態依然とした行事に推移してしまったことを反省しております。

また中柘植も他地区同様、少子高齢化が進んできており、民生委員さんを筆頭にボランティアの方々の協力を得て「たすけ愛・きずなの会」「なかつげカフェ」「きらく会」等開催していますが、ボランティアの方々の平均年齢が70才前後になってきており、老老介護の態をなしてきているのが現状です。

今後、65歳以上の高齢化率が毎年確実に上がってくることを考えれば、農業を含めた後継者問題等を真剣に考えていく必要があります。

3月下旬、小杉地内で見つかった不法投棄。きれいな区・柘植地域を将来の住民に渡していきたいものです。まず一人ひとりができることから...



### キラッと輝け!

#### 地域応援補助金説明会

3月26日(火)午後、ゆめぼりセンターで、平成31年度から始まる表記の補助金制度説明会(地域づくり推進課)へ参加しました。



対象は自治協に限られ、地域の「まちづくり計画」に基づく主体的な事業である必要があります。

現段階では、柘植駅130周年を迎えるにあたり取り組んでいる「柘植駅活性化」に関する事業について申請する予定です。

### ★★★事務局だより★★★

▼3月20日、「NHKおはよう日本」けさのクローズアップのコーナーで、「平成の大合併・自治体が直面した厳しい現実」というテーマで伊賀市が取り上げられました。その一例として柘植の状況が紹介されました。取材のときは、慣れない



いこともありいろいろとたいへんでした。▼3月24日(日)、

滋賀県甲賀市のあいの土山斎王群行へ参列させていただきました。たいへん勉強になりましたので、「柘植の斎王」を進める上での参考にしていきたいと思えます。(西田方計)

